

1on1ミーティング研修

対象者：管理・監督者

1. 研修の目的

上司と部下が1対1で定期的に対話することにより、部下自身が業務を振り返り、気づきを得て、部下が自律的に業務を進められ、成長を実感できる場をつくることを目的とします。

2. 研修の目的

	内容	詳細、得たい成果
3時間	<p>I. 研修の目的と全体像</p> <p>II. 1on1ミーティング導入の背景</p> <p>III. 1on1ミーティングのメリット、デメリット</p> <p>IV. 1on1ミーティングの実施例</p> <p>事例1 「部下のやりたいことを見つける」</p> <p>事例2 「部下の才能を発見する」</p> <p>事例3 「部下の肉体的・精神的な状態を知る」</p> <p>V. 1on1ミーティングの進め方</p> <p>1. 基本的な考え方</p> <p>① 目的は何か</p> <p>② 質より量が優先</p> <p>2. 進め方</p> <p>① 得たいのは『本人の気づき』</p> <p>② コーチングとメンタリングの実践</p> <p>③ 部下の特性（能力、やる気、性格）によって コーチング NG</p> <p>3. ケーススタディ</p> <p>「面談者としてのあるべき振る舞いと NG 行動のチェック」</p> <p>VI. 確認テスト</p> <p>① 実施</p> <p>② 解答確認</p>	<p>IIIについて</p> <p>1on1ミーティングのメリット、デメリットを確認し、その必要性を認識するとともに、デメリット部分の払拭方法についても確認していきます。</p> <p>IVについて</p> <p>状況別に1on1ミーティングの実施例を確認し、実践イメージをより具体化していきます。</p> <p>Vについて</p> <p>1on1ミーティングの進め方について、基本的な考え方と詳細について確認します。</p> <p>得た知識をアウトプットし、より理解度を深めるために、1on1ミーティングの例をケーススタディ通して確認し、面談者としての良い点と改善点をチェックしていただきます。</p> <p>VIについて</p> <p>これまでの理解レベルを確認するために、テストを行います。</p> <p>選択式と記述式で構成されております。</p> <p>総じて、現場にて必要となる1on1ミーティングの知識技術を体系的に習得することが可能です。</p>